

感謝と貢献～14歳の誓い～



2月12日那須中央中学校で、立志式が行われました。

立志式を迎えるにあたり、目標にして取り組んできたことや、どのような人になりたいかなどを2年生122人が、「立志の誓い」として一言ずつ述べました。家族への感謝の気持ちや自立へ向けた力強い決意などが伝わってきました。その後、幼い頃のスライド上映、親子での手紙交換、合唱などが行われ、ともに歩んできた14年間の思い出と将来への希望にあふれた雰囲気の中、式典は終了しました。

式典後の親子キャンドルづくりでは、いろいろな形や大きさのカラフルなパーツを組み合わせて、世界でたった一つのキャンドルを作りました。

自分の言葉で堂々と

2月8日、文化センターで第2回プレゼンフェスティバルが開催され、小学生6組、中学生7組、高校生3組、大人3組が出場しました。平久井教育長は「リーダーは言葉を持たなくてはなりません。これからは、相手をいかに納得させるか、共感させられるかを求められる時代です。正解のない課題を考えること、楽しめることができる人に育ててください」とあいさつしました。

出場者らは、町の未来のために考えたことや町の特産品の良さ、マイチャレンジ（職業体験）で学んだ働くことの大変さややりがい、実験や研究の考察、結果、得たものなどを、それぞれ堂々と発表しました。



那須地区少年サッカーの普及と技術向上に貢献したとして、セルジオ越後さん（写真中央）に町から感謝状を贈りました（2/2 第40回セルジオ越後杯争奪戦 スポーツセンター）



子どもたちに活字に親しみ、書く力や読む力を養って欲しいと、大田原信用金庫の駒場善一理事長（写真右）から児童図書のための寄付をいただきました（2/13 町長室）



「自宅でおいしいコーヒーを楽しむ」をコンセプトとした珈琲講座には約20人が参加し、珈琲焙煎士から入れ方のポイント等を学びました（2/19 図書館）



「残そう美しい自然、守ろう安全な暮らし」～発信しよう那須町から～をテーマに、さわやかネットワーク那須が1年間の活動報告を行いました（2/2 第16回みんなの集い那須 文化センター）